

## 議事録

会議等の名称	総合型地域スポーツクラブ検討会議並びに 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	開催日時	令和4年4月22日(金) 午後6時00分～午後8時00分
		場 所	山ノ内町公民館 郷土資料室
主催者(事務局)	教育委員会スポーツ係	進行者	スポーツ係長 下田裕一
	<b>【委員】</b> 高山祐一、山口辰也、堀米光男、中野哲良、関賢一、武田喜代子 湯本裕之、石坂大輔、栗林郁江、北村丈治 <b>【オブザーバー】</b> 未松英司(県クラブアドバイザー)、北村和幸(県体育センター)、土橋裕樹(北信教育事務局) <b>【山ノ内町】</b> 小林元広、下田裕一		
欠席者			
協議事項	(内容及び議題) 1 総合型地域スポーツクラブ設立検討会議 2 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会		
主な決定事項 (要点筆記とする)	1 総合型地域スポーツクラブの設立を目指し、準備委員会を設置し協議を開始する。 2 山ノ内町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会規約の施行 3 山ノ内町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会役員決定 ・委員長 高山祐一 (山ノ内町体育協会 会長) ・副委員長 山口辰也 (山ノ内町スポーツ推進委員長) ・監事 関 賢一 (株式会社BCF 代表取締役・アスレティックトレーナー) ・監事 石坂大輔 (株式会社ヤドロク代表取締役) ・事務担当 北村丈治 (山ノ内町地域おこし協力隊)		
次回への検討事項	1. 山ノ内町のスポーツの現状について 2. スポーツクラブのビジョンについて 3. 今後の取り組みについて 4. その他		

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
	委員長	山ノ内らしい総合型を目指し、一步一步2、3種目と地道に増やし少しずつ広めていけたらとの思いがある、スポーツに精通したメンバーが集まっているので目的に沿った会議、設立準備、クラブができるとこまでぜひご協力お願いします。
	スポーツ係員	①設立スケジュール(案)、②活動計画・内容(案)について、資料に基づき説明
	委員長	・山ノ内には社会体育館がない、インドアスポーツの皆さんはみんなワイワイ集まれる場がないのではないかと思うがどうか？
	委員	・廃校になった小学校のすがかわ体育館が社会体育館のようにになっているが、遠いなどの意見がある。子どもから高齢者までとなるとどうやってそこまで行くのか、利便性のよい拠点になるところを考えてほしい。 総合型にするにあたりメインとなる施設をどうするか？利用者側からすると社会体育館をつくるなど施設の充実を図ってほしい。
	委員長	・町の財政を考えると新しい施設をつくることは難しいかもしれないが、山ノ内町みたいな環境下でもやっている事例があるか調べてみる必要がある
	委員	・近隣で総合型地域スポーツクラブを早い段階で設立したが今も活動しているか？
	オブザーバー	・実質いまは活動していないようです
	委員	・大きな施設があっても継続できていないところもある、小さな施設でやっているところの話聞く必要がある。
	委員	・2年後の設立に向け時間がないので具体的な案をみんなでだして効率的に会議を進めていきましょう
	委員	・お金を出してスポーツをする考えが山ノ内にはあまりなく、町からの負担ばかりだと続かない、どこからお金を生むかと考えると観光に来たお客さんなども上手に取り入れたい、コロナ前は年間志賀高原は400万人、渋温泉は120万人、インバウンドの長期滞在の方なども参加できるプログラムを考えたい。
	委員	・高齢者のストレッチ教室をやっている、30名ほどメンバーがいるが女性ばかり。身体を動かしたいニーズはある、みなさん切実に自身の健康を考えている。
	委員	・空手の少年団の団員数が減っているののでいつまで続けられるかわからないのが現状。以前に短期で温泉街で働いている若いアメリカ人が参加したことがある。保険等の問題があったが子どもたちから大人気で刺激を受けていた。冬はスキーで、夏は空手をする子どももいた。昼は野球、夜間に空手をしていた子もいた。大人も参加可能なのだが忙しくて皆なかなか参加できない。
	委員	・ソフトボールの小学生も部員が集まりづらい状況。チラシ等を配っても保護者の負担もあるので増えない。
	委員	・山ノ内町の全保育園で身体を動かす楽しみを覚えてもらう運動指導をしている。小布施町でも10年幼小中で一貫指導しているが小学生の高学年女子で走るのが苦手だという子が他より5%ほど減少している。これからの社会は人と人との繋がりが重要と考える、今日のメンバーの繋がりを強くしないといけない。 地域のニーズを早めに調査していく必要がある。
	委員	・オリンピックにも出場させていただき、様々な経験を生かしてこの地に何か役に立ち



